

港区立御成門小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの内容を聞き取ることに課題がある。必要な情報を選んでメモをとることができない。 言葉の学習。ことわざや四字熟語、慣用句などに慣れ親しんでいない。 「言語」と「読む」が最も低いという結果が出た。これは、「言語」と「読む」において、目標値を大きく下回る児童が少なくないことに起因する。学年相当の言語の知識技能と、文を読んで正しく理解する力を全体的に引き上げる必要がある。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 情報の読み取り。資料から必要な情報を読み取ることに課題がある。 知識面で曖昧な部分がある。(工業、農業) 資料活用、知識理解に課題がある児童がいる。 「地域の発展につくした人々」「地図の見方」「県の様子」の理解に課題がある児童がいる。 社会的事象について、複数の資料を関連付けながら把握したり、考察したりすることに課題がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 百分率とグラフ、割合、単位量あたりの問題で正しい立式ができない。 小数、分数の計算の技能に個人差がある。 整数の性質の理解に不安がある。(倍数、約数等) 知識・技能は、多くの児童が身に付けているが、それらを使って新たな課題を解決していく活用する力が課題である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 正しい理科用語を用いた説明活動が課題。 電磁石等、目に見えないものを考えることが苦手。 顕微鏡の使い方。実験器具を正しく操作、使用法を説明することが苦手。 正しい理科用語を用いた説明活動が課題。 基礎に比べると、「活用」は、目標値を大幅に下回る児童が少なくない。活用力をつける学習を増やす。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな「言葉の力」を身に付ける。 ○豊かな感性を身に付ける。 ○言葉としての使い手としての自覚を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項や日常生活と結び付けながら、身に付けさせたい力を明確にし、見通しをもって単元学習を行っていく。・読みの着眼点を示す。 さまざまな言葉の特徴や使い方に目を向けさせる。 書き手の目的や意図に応じた表現、文章構成を学ぶ。 普段から書く活動を継続的に行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究・解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を明確にした上で、何を調べたらよいかを考えさせることで、必要な資料を取捨選択できるようにするとともに、必要な情報を読み取れるようにする。 資料を読み取る視点を与えることで、複数の資料を関連付けながら社会的事象を把握したり、考察したりする力を育てていく。 様々な社会的事象を調べる際に地図を活用することで、地図を正しく読み取れるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもち筋道を立てて考える力 ○既習事項を活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな課題に対して、既習事項を基にして結果や方法の見通しをもたせる。そのために、既習事項を確かめる方法(掲示物、ノート)を身に付けさせる。 自分の考えを、言葉や図、式などを関連付けて順序立てて表す活動を充実させる。 既習事項をわかりやすく掲示し、理解を深める環境をつくる。

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○理科の見方・考え方を働かせた問題解決の力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の学習の継続。 ・学んだことを活用する時間の設定。(発表、ものづくり等) ・実験器具を繰り返し使用する機会を設けるとともに、実験計画をノートにまとめられる時間を確保する。

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	気付き、表現する力	<ul style="list-style-type: none"> ・諸感覚を働かせて、楽しく活動できる場の設定を工夫する。 ・気付いたことを友達と話したり、絵や文でかいたりすることを積み重ねる。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○表現、鑑賞の活動を楽しみながら進んで学習に取り組んでいる。曲想を楽譜の中から読み取り、表現の工夫に繋げることができる。必要感をもって技能の習得ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって取り組める題材を取り上げる。 ・曲想を楽譜の中から探す活動を意識してつくる。また根拠となる、曲の仕組み、共通事項などを手がかりに見つけられるようにする経験を積ませる。 ・スモールステップで技能の習得ができるように、練習の過程を提示する。 ・楽曲に取り組む過程で技能の必要性を感じさせる。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○表したいことを見付けたり、どのように表すか考えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動できるように題材を工夫し、精選する。 ・材料とかかわる機会を多く設定し、意欲を高める。 ・発表会や作品展示など互いのよさや個性を認め合える活動をふやし、自己肯定感を高める。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○技能の向上 ○創意工夫	<p>手縫いやミシン縫いが上手にできないので、短い時間でも継続して指導していく。</p> <p>作品作りに創意工夫が見られるように時間の確保をしたり、適切なアドバイスをしたりする。</p>

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○課題解決のための活動を工夫する力	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードや掲示物を用いたり、技や動きのできばえを振り返ったりして、自己の能力に適した課題を見付けられるようにする。 ・技や動きのポイントを共有したり、友達のできばえを伝えたりする活動を設定する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業までに、アルファベットの大きい文字と小さい文字が書けて読めるようになる。 ○卒業までに、音声で十分に慣れ親しんだ文章を指でなぞりながら声に出して読むことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NTの協力をいかして、 ・低学年では、音声と文字に親しんだり識別したりする活動を多く取り入れる。高学年からは、4線を使って正しく書けるように、ワークシートや指導を工夫する。 ・視覚情報や状況設定などをもとに、音声に慣れ親しませるとともに、音声繰り返し声に出して言い慣れさせる。指導を行う。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ○B「主として人との関わりに関すること」 ○道徳的判断力 	<p>児童が自分の体験やそれに伴う感じ方や考え方を基に自分なりの考えをもって、友達と話し合う中で、道徳的価値のよさや難しさを確かめるような問題解決的な学習</p>

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○人間関係を形成する力	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を含めた計画的な学級会の実施 ・縦割り班活動・クラブ活動・委員会活動など異学年交流の充実

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○追究課題を明確にして児童自らが計画し方法、考察まで取り組むことができる力	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料やインターネットなど様々な方法で情報を収集する経験を積ませるとともに、必要な情報のみを取りだせるよう指導する。 ・情報を集めるだけでなく、調べたことから分かったことや考えたことをまとめるよう指導する。